

第6章 担いあうまちづくり

第1節 協働のまちづくりの推進

主な施策

- 1 協働の仕組みの構築
市民参画の場の整備
- 2 まちづくり活動の推進
多彩なまちづくり活動の支援
- 3 協働のまちづくりを支える情報の公開と共有
情報提供と公聴広報活動の充実

第1節の3年間の事業費（単位：百万円）

年度	18年度	19年度	20年度	合計
金額	124	167	185	476

【主な施策の主要事業】

主な施策	基本的な方向	主要事業	事業計画年度			事業量等
			18	19	20	
1 協働の仕組みの構築		市民参画の場の整備				
		推進計画の作成事務				まちづくり基本条例の規定に基づき、条例の趣旨に沿った協働のまちづくりを推進します
		役割分担指針の作成事務				協働のまちづくりを推進するためには、市民ニーズに対応した個々の事業において、市民・行政それぞれの役割を明確にする必要があることから、市民と協議しながら、市民と行政の協働の調整を行います
		市民自治推進委員会の設置				市民自治推進委員会を設置し、市民参加を得ながら、協働のまちづくりを進めます
2 まちづくり活動の推進		多彩なまちづくり活動の支援				

主な 施策	基本的 な方向	主 要 事 業	事業計画年度			事 業 量 等
			18	19	20	
		登別市連合町内会助成事業				登別市連合町内会の活動を支援します。登別市連合町内会は、登別温泉地区、登別地区、鉄南地区、札内・来馬地区、中央地区、幌別西地区、青葉地区、富岸地区、新生地区、鷺別地区、美園・若草地区の各地区連合町内会で構成されています 役員会の開催回数...年4回を予定 総会への単位町内会参加件数...85町内会を予定
		町内会運営費助成事業				地域の発展を目的に活動する町内会、町会、自治会の運営を支援します。助成金は、団体割や世帯割、会館割、防犯灯割で交付され、地域の美化清掃をはじめ、敬老会や祭典、新年会、防犯灯・会館の維持管理などに利用されています 助成対象町内会数(平成18年4月1日)...98町内会
		コミュニティ助成事業補助金				財団法人自治総合センターのコミュニティ助成事業を活用し、コミュニティ組織への支援を行います 補助件数...1件を予定
		登別市民憲章推進協議会助成金				市民憲章の周知を図るとともに、より豊かな郷土づくりを目指し、『花いっぱい運動』の実施や『まちづくり市民のつどい』の開催、『市民憲章だより』を発行している『登別市民憲章推進協議会』の活動を支援するため助成金を交付 加盟団体数...99町内会を予定 市民憲章だよりの発行部数...21,000部を予定
		登別温泉ふれあいセンター運営管理経費				図書・パソコン利用者数...年2,500人を予定 多目的ホール利用回数...年50回を予定
		のぼりべつ・クリーン&フレッシュ事業				個人のグループや企業・各種団体が道路や公園・広場、河川の里親になり、ボランティアで清掃美化活動を行うアダプトプログラム『のぼりべつ・クリーン&フレッシュ事業』を行います 市、市民、企業が協力して身近な生活環境を改善し、きれいなまちづくりを推進

主な 施策	基本的 な方向	主要事業	事業計画年度			事業量等
			18	19	20	
3 協働のまちづくりを支える情報の公開と共有						
		情報提供と公聴広報活動の充実				
		情報公開条例・個人情報保護条例の見直し事務				協働のまちづくりに対応した制度を確立するため、情報公開制度・個人情報保護制度の見直しを進め、その整備を図ります
		地域情報化推進事業				地域情報センターの維持管理など 地域情報センター開館日数...年307日 利用者数...年16,000人を予定
		北海道電子自治体共同システム運用事業				電子自治体の実現に向けて構築した各種システムの共通基盤や市町村電子申請システムを北海道と道内市町村が共同で運用します 電子申請可能な手続件数...最大32件を予定
		電子計算機運用処理業務の民間委託				ホストコンピュータ（汎用機、周辺装置、端末機器等で構成）を利用した住民記録や税等の業務システムを安定的に運用するため民間に委託します 汎用機で処理を行っている業務数...13件を予定
		戸籍電算化システム導入事業				平成18年度...プロジェクト方式による契約の手法・支払方法・事業機関等の決定 平成19～20年度...戸籍総合システムのセットアップ及び構築
		共同電算調査研究事業				西胆振各市町村がそれぞれで構築・運用を行っている行政情報システムについて、共通のシステムを利用することで情報処理経費の削減を図り、アウトソーシングすることにより専門知識を有する職員を確保することなくシステム運用を可能とする手法としての共同アウトソーシングについて、調査研究を行う

主 な 施 策	基本的 な方向	主 要 事 業	事業計画年度			事 業 量 等
			18	19	20	
		電子計算機のアウトソーシング事業				<p>詳細設計/関連プログラム等の改修/A C O S 設置/S G 作業/データ移行/接続動作試験等</p> <p>平成19年度はスプールサーバのシステム開発、関連プログラム等の改修などのソフト開発を主に行う</p> <p>平成20年6月以降...委託先データセンターにおいて機器類を含む電算システム及びデータ等の維持管理と業務運用の完全委託</p>
		広報等経費				<p>広報紙の発行ページ数...年350ページを予定</p> <p>広報ビデオの作成本数...年1本を予定</p> <p>単位町内会ごとの地区課題(要望)の把握</p> <p>地区連合町内会ごとの地区課題の開催</p> <p>市民見学会の開催(春・秋)など</p>
		市民ニーズアンケート調査事業				<p>地方分権の進展や少子高齢化社会を迎える中で、市民との協働のまちづくりを進めるにあたり、多様化する各年代層の市民ニーズを的確に把握するため、市民ニーズアンケート調査を行います</p> <p>アンケート調査件数...年2,000件を予定</p>
		パブリックコメント制度の確立				<p>協働のまちづくりを進めるためには、市民と行政が情報の共有を図り、情報の提供と市民意見の反映を的確に行う必要があることから、パブリックコメント制度を確立する</p>
		市民活動団体検索システムの見直し				<p>ボランティア活動やNPOなどの市民団体の検索や各団体の活動内容を知ることができる検索システムの見直しを行います</p>

第2節 交流によるまちづくりの推進

主な施策

- 1 国内における交流の場と機会の拡大
国内の様々な地域との交流の推進
- 2 海外との交流の場と機会の拡大
地域国際化の推進
- 3 定住の地を求める人の勧誘と定住支援
移住・定住の受入体制の充実

第2節の3年間の事業費（単位：百万円）

年度	18年度	19年度	20年度	合計
金額	10	10	10	30

【主な施策の主要事業】

主な 施策	基本的 な方向	主 要 事 業	事業計画年度			事 業 量 等
			18	19	20	
1 国内における交流の場と機会の拡大		国内の様々な地域との交流の推進				
		西胆振広域圏振興協議会負担金				広域的なまちづくりを進めるため、西胆振の市町で構成される協議会において、その振興策を協議します。
		室蘭地方総合開発期成会負担金				広域的なまちづくりを進めるため、西胆振の市町で構成される期成会において、社会基盤整備を図ります。
		登別・白石姉妹都市交流推進協議会助成金				姉妹都市である宮城県白石市と産業や経済、文化、スポーツ、福祉などの活動を通して友好・親善を図っている同協議会に助成金を交付し、活動を支援します 事業実施件数...年7件を予定
		姉妹都市スポーツ交流事業助成金				姉妹都市である白石市と少年サッカー大会や水泳大会を通して交流を深めるため、『登別・白石姉妹都市少年スポーツ交流団』と『姉妹都市国際親善水泳大会参加交流団』に助成金を交付し、活動を支援します 姉妹都市交流団参加回数...年2回を予定

主な 施策	基本的 な方向	主要事業	事業計画年度			事業量等
			18	19	20	
		姉妹都市小中学校交流事業				姉妹都市である白石市の伝統文化を理解するため、各小学校持ち回りで伝統こけし絵づけを行います 児童・生徒の積極的な交流のもとに友情を育み、かつ相互のまちを理解し、併せて学校間の交流を推進
		姉妹都市小中学校交流事業補助金				登別市と白石市の小・中学生が、学校間交流を行い、互いのまちの歴史を学び、交流を深めます。また、交流を推進する『姉妹都市小中学校交流事業実行委員会』に補助金を交付し、活動を支援します 小学校の交流事業...年3日 中学校の交流事業...年3日
		東京登別げんきかい交流事業				首都圏などに在住する登別市出身者やゆかりのある方で構成される『東京登別げんきかい』の活動を支援します 情報交換会・総会の開催回数...年2回を予定
		登別市ふるさと大使事業				登別市にゆかりのある方を『登別市ふるさと大使』（通称：鬼大使）に委嘱し、さまざまな機会に登別市を宣伝してもらうとともに、まちづくり情報などを提供してもらいます 任命（委嘱）件数...年1人を予定 大使人数...延べ48人
		札幌のぼりべつ会交流事業				札幌圏在住の登別市出身者やゆかりのある方たちで構成される『札幌のぼりべつ会』の活動を支援します 総会、懇親会、交流プラザ等の開催回数...年1回を予定
2 海外との交流の場と機会の拡大						
	地域国際化の推進					

主な 施策	基本的 な方向	主 要 事 業	事業計画年度			事 業 量 等
			18	19	20	
		自治体職員協力交流事業				海外の地方自治体などの職員を『協力交流研修員』として受け入れ、日本の自治体のノウハウや技術を習得してもらうとともに、市内で開催される国際交流事業に同研修員を参加させ、市民との交流を通して、地域の国際化を図ります
		国際交流推進事業				登別市の国際交流を推進するため、講演会やデンマークからの研修生受け入れの支援などを行います
		友好交流促進都市推進事業				中国・広州市と友好交流を促進し、地域レベルでの日中の友好親善を深めるとともに、観光振興を図ります 中国広州市との友好交流等の実施回数...年1回を予定
		市民のホスピタリティの醸成				外国人観光客が快適に滞在しやすいまちづくりを進め、市民のホスピタリティ精神の醸成に努めます
		中学生海外派遣事業				登別市の次代を担う青少年が、諸外国の生活や異なる文化に接することにより、国際理解を深め、国際社会に対応できる豊かな人間性を身につけることを目的に、市内の中学2年生5人をデンマークに派遣し(7日間)ホームステイなどを体験させます 派遣生徒数...年5人を予定 研修回数...年14回を予定
		国際協力の推進				国際交流団体の活動を助長し、国際的な理解を深めるとともに国際交流・貢献活動を奨励します
		国際交流に関する情報発信				市や国際交流団体が実施する事業について、多くの市民が参加できるよう情報発信します
3 定住の地を求める人の勧誘と定住支援						
		移住・定住の受入体制の充実				
		移住促進事業				移住ビジネス創出の研究や情報交換を行い、移住促進を図ります。
		移住に関する情報提供事務				まちの概要やセールスポイントのPR
		移住体験ツアーの推進				首都圏の団塊の世代を対象とした体験ツアーなどを企画し、移住誘致の促進を図ります